

OITA WEEKLY



[RIテーマ] 「世界に希望を生み出そう」
[地区スローガン] 「ロータリーは学び舎であり、遊び場である
そして今、ロータリーアクションは世界を変える」
[大分RCスローガン] 「We are Rotarians」

第14回例会 2023年11月14日 No. 3472 例会／毎週火曜日 12:30 トキハ会館4F
会長 馬場ヒロ子／幹事 永田悠三郎

本日のプログラム

於：ホテル日航大分オアシスタワー3階紅梅の間

(食事 18:20~18:40)	
点 鐘	18時30分
ロータリーソング	それでこそロータリー
ゲスト・ビジター紹介	馬場 会長
会長の時間	馬場 会長
出席及び幹事報告	永田 幹事
新会員入会式	小手川 大助会員
委員会報告	関係委員長
ニコボックス	徳高 S.A.A.

今週のお祝い	
結婚記念日	徳田 靖之会員 11月27日
会員誕生日	橋本 均会員 11月15日
	徳高 康弘会員 11月25日
卓 話 19:00	
「私」と「SYSKEN」の紹介	
株式会社SYSKEN 大分支店 支店長 大重 誠也 会員	

**第13回 11月7日
例会記録**

出席報告	
会員総数 (免除会員)	52名 (3)
出席総数 (免除会員)	37名 (1)
出席率	74.00%
ゲスト	2名
ビジター	0名
10月17日 修正出席率 98.04%	

会長の時間 馬場会長 “ハワイ水質改善”

仕事や休暇でハワイを訪れた方も多と思います。私も先日、所用でオアフ島のホノルルに数日間滞在しました。ホノルルの街の中を、よく整備された河川のようなアラワイ運河が流れています。かつては物流を支えたこの運河には、人が泳げるほど澄んだきれいな水があったそうです。2022年に運河建設100年を迎えており、現在も両岸に立ち並ぶ高層マンションを囲むように木々が植えられ、遊歩道が整備されています。しかし人口増加と都市化に伴い、運河の底には污泥がたまるようになった、というような話を地元のタクシーの運転手さんより伺い、しかもこの運河がロータリーと繋がりがああることも教えてもらいました。それで、自分なりに少し調べてみました。

ハワイ州カカアコ・エコ・ロータリークラブの会員は、このアラワイ運河で以前のような美しい運河を取り戻そうと水質改善活動を行っています。その名は、「ゲンキ・アラワイ・プロジェクト」です。これは2019年にロータリークラブをはじめとするハワイの非営利団体のプロジェクトとして発足し、パートナーとして数多くの行政、教育機関に加え、リッツカールトンホテルなど地元企業が加わっています。

水質を改善するには、どうするのか？ それは「元気ボール (Genki balls)」です。これは有用な微生物群、略してEM、が多く含まれた泥の球を作り、ワイキキのアラワイ運河に投げ入れるという活動です。土、糖蜜、米ぬかを混ぜて作った「元気ボール」に含まれる活性バクテリアが、運河の底にある污泥を消化・酸素化します。これは日本で開発された技術で、大阪の道頓堀川もこのEMによって浄化された実績があります。このプロジェクトでは、7年をかけて、2026年までに人が泳げる水質にすることを目標にしています。

この元気ボールを作るには、有用微生物群EMの液体を、水と土に混ぜて泥を作ります。後は泥遊びをするように手のひらサイズの泥の玉を作ってゆきまします。その後2-3週間、発酵・乾燥させると完成です。ボールの表面をよくなでて滑らかな球体になると、ひびが入りにくくなり、水中で割れずに汚泥層の底に届いて、効果期間が長くなるそうです。

2022年3月には、ハワイロータリークラブ会員とその友人たちを含む200人以上のボランティアが、このゲンキ・アラワイ・プロジェクトでボールを作りました。その3週間後に、発酵した元気ボールを運河に投げ入れられました。当日は、大勢の子どもも参加し、多くのカヌーも出て、エアホーンの音とともに数百個のボールが一斉にアラワイ運河に投げ入れられました。この期間に合計5000個のボールが投入され、その結果、アラワイ運河の観測地点では、2ヶ月間で既に污泥の深さが15cm以上も減っていることが確認されています。

ハワイには、伝統文化と美しい自然環境を守っていくための思いやりの心「malama (マラマ)」が有るそうです。このプロジェクトはmalamaを体現したものだと思います。またロータリー会員や一般のボランティアや子供達にとって、自ら手を動かして泥のボールを作り運河に投入するという行動自体にも、喜びがあると思います。その点でとても優れた取り組みだと思います。

以上で会長の時間を終わります。ありがとうございました。

幹事報告

永田幹事

1. 九州4地区合同公共イメージ向上事業のご報告と御礼

事前に一部クラブから寄付	246,000円
バザー売り上げ	368,897円
街頭募金	186,191円

合計 801,088円

九州4地区合同公共イメージ向上事業として開催された、名古屋東ロータリークラブ会員のホシザキ株式会社の坂本精志会長の基調講演を視聴することができます。詳しくは文書を回覧しますのでご覧ください。

2. ガバナー月信を各テーブルに置いておりますのでテーブルごとに回覧してください。

3. シンガポール国際大会のご案内（回覧）

理事会報告

2023-24年度 第9回理事会 11月7日(火)

馬場 山本 永田 佐藤信 麻生 福田 橋本均 川野
オブザーバー(会費検討委員会より) 高山 徳高 木村
〈議題〉

1. 大分RCホームページについて

- ① 現在のホームページについて
- ② 新規ホームページの目的
- ③ 予算

→まずは現在の活用状況などを調査してから再検討する

2. インターネットバンキング導入について

(佐藤副幹事より現状と改善点の説明)

インターネットバンキング導入にあたって、下記3点を会計監査委員が定期的に確認することとする。

- ① 会長・幹事・会計が承認印を押した請求書
- ② インターネットバンキングでの振込控え
- ③ 通帳のコピー

また、セキュリティ対策として、ワンタイムパスワードを生成するツール(カメラ付きトークン)を会員用と事務局用に2個持つ。(会員が管理するトークンの方に上位の権限を設定する)

→導入について承認

3. その他

- ・地区委員への推薦について

尾野文俊会員 地区から公共イメージ委員会
委員への推薦依頼

→大分RCから尾野会員を地区の公共イメージ委員会委員に推薦する

委員会報告

〇国際ロータリー九州4地区合同 公共イメージ向上事業報告

〈青少年奉仕部門〉

青少年奉仕委員会 西野 誠委員長

「国際ロータリー九州4地区合同公共イメージ向上事業」が10月28日土曜日に開催されましたが、青少年奉仕

部門としては、大分RC提唱クラブである「大分東明高等学校インターアクトクラブ」顧問+インターアクト生=合計11名が「ポリオ根絶募金活動」に参加頂きました。

インターアクト生は、顧問の先生とともに「ガレリア竹町ドーム広場歩行者天国前」で5名ずつ2列に分かれて「行動しよう！ポリオ根絶募金にご協力よろしくお願います！」と元気よく声をかけ、多くの方々が募金をされていました。

また、開会式の際には、他クラブの方がカナダからの交換留学生を大分東明高等学校インターアクト生に紹介⇒留学生との交流の機会を頂き、募金活動以外にもインターアクト生にとって有意義な時間を過ごすことができました。

インターアクト生のみなさんが明るく純粋な気持ちで、一生懸命頑張っている姿を見て清々しさを感じるとともに、これからも大分RCとして応援しなければという気持ちになりました。

以上

ファンド奨学生へ奨学金贈呈

2023-2024年度大分RCファンド奨学生のペレラ ガルヘーナゲ ウィヌリ ウデーシさんとキム ジュソンさんへ馬場会長から奨学金が贈呈され、お二人から近況報告をしていただきました。

卓 話

“LNGの役割と当社の概況”

大分エル・エヌ・ジー株式会社 代表取締役社長
須藤 礼会員

本日は、「LNGとは何か」から始まり、ここ数年の当社の状況やLNGを取り巻くエネルギー情勢についてお話をいたします。

LNGは、地下に堆積した生物の死骸が微生物の分解作用により生成された天然ガスを、-162℃に冷却して液化したものです。特徴として、LNGを燃焼した場合、二酸化炭素の排出量が石炭や石油より少なく、また硫黄分が含まれないためクリーンなエネルギーと言われてます。また液化することで体積が1/600になり大量貯蔵と輸送に適しており、豪州をはじめとした海外から輸入しており、2022年度は約202万トンの受入を行いました。

次に当社の概要説明を致します。九州電力(株)新大分発電所へのLNG供給を目的として1990年に運開しています。その後1992年に都市ガスとして大分瓦斯(株)への供給、また2006年からタンクローリー車により化学や食品工場、今年度からは船舶燃料としてフェリーさんふらわあへの供給を開始しました。基地の設備概要ですが、LNGタンクを5基保有し46万kl受入が可能です。受入量の推移は徐々に増え続け、東日本大震災による原子力発電所の停止時は需要が急増しましたが、直近では200万トン前後で推移している状況です。次に安全確保への取組として大地震を想定した基地の評価と対策を行いました。震度7の地震ではLNGタンクを含め基地の大部分は

被害を受けない評価となりましたが、一部配管の耐震補強やケーブルの地上化を行いました。津波想定は1.57m（大分平均水面を基準）に対し、基地の敷地高さは3.2mであり大部分は浸水しません。また外部電源喪失を想定し、非常用電源用の燃料タンクを増設しました。

次にエネルギー情勢を説明します。1970年代の石油ショックによる石油価格高騰からLNGへの転換は加速されていきますが、現在はエネルギー政策が見直され、直近では太陽光など再生可能エネルギーが開発されています。九州は地形から太陽光の普及率は高く推移していますが、天候により発電量が変動します。この変動に対応する発電所が起動発停が早い特徴がある新大分発電所になり、今後も重要な発電拠点になります。

最後に今後の課題を説明します。カーボンニュートラルに向けて世界的に水素の活用がクローズアップされています。海外で大量生産した安価な水素を安く輸入することが今後の課題です。輸送コストを抑えるため液体にして運ぶ必要があり、その手段としては液化水素・アンモニア・MCH（メチルシクロヘキセン）・e-メタン（水素と二酸化炭素を結合）などが考えられています。当社では既存技術及び既存設備の利用が可能なe-メタンに興味を持っております。e-メタンを使用することで、都市ガスを利用するガス需要家・一般家庭の皆様がカーボンニュートラルに参画可能となります。大分エル・エヌ・ジー株式会社は、今後とも安全に安定した天然ガスの供給に努めるとともに、カーボンニュートラルへ貢献したいと考えています。

家庭集会

11月14日(月) 15時現在

- ◆第2グループ 11/28(火) 18:30～「婆皿よしだけ」
- リーダー 永田 悠三郎
カウンセラー 橋本 均
幹事 徳高 康弘
メンバー 大多和 繁孝 森若 利幸
甲斐 友邦
- ◆第3グループ 11/29(水) 18:30～
ホテル日航大分オアシスタワー
20F「オーキッド」
- リーダー 岩尾 久一
カウンセラー 阿部 成善
幹事 松本 淳也
メンバー 佐藤 信彦 尾野 文俊
- ◆第6グループ 11/28(火) 18:30～（場所は調整中）
- リーダー 岡本 浩幸
カウンセラー 橋本 仁
幹事 武下 豊
メンバー 大重 誠也 荻原 哲
- ◆第7グループ 11/21(火) 18:30～
ホテル日航大分オアシスタワー
2F「折鶴」
- リーダー 小野 日出明

カウンセラー 鈴木 宗厳
幹事 間瀬 哲也
メンバー 馬場 ヒロ子 澤田 清
西野 誠 吉野 敏成
緒方 正朋 栗山 嘉文

ニコボックス

徳高 S. A. A.

●馬場 ヒロ子会員（3口）

10月28日(土曜日)、「2023～2024年度九州4地区合同公共イメージ向上事業」の一環として、ポリオ根絶のための募金活動とバザーを行いました。公共イメージ委員会の尾野委員長と青少年奉仕委員会の西野委員長をはじめとする会員の皆様のおかげで、大盛況のうちに終わることができました。85万円の売上と募金が集まり、それにパストガバナーたちからの15万円の募金を合わせて、約100万円の募金額となる予定です。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

●尾野 文俊会員（2口）

10月28日(土) 九州4地区合同公共イメージ向上事業で、2720地区「慈善市2720」にご協力頂きありがとうございました。

多くのバザー商品の提供と当日の販売係を担当していただいた、馬場会長、永田幹事、佐藤副幹事、西野会員、松井会員、船津会員、間瀬会員、仲摩副委員長の妹の仲摩朋子さん、ありがとうございました。

2000点を超えるバザー商品はまたたく間に売れてしまいました。また、歩行者天国や竹町での募金活動もとても活発に行われました。夜の懇親会での報告では全て合計すると85万円ものポリオ募金になったそうです。

今回のバザーで驚いたことがありました。それは馬場会長の新しい能力です。生活する商品から高級なモノまでお買い物大好きな馬場会長ですが、バザー商品を見ているお客の目線や手に取る商品をじっと観察しながら好みを見つけ的確なアドバイスをしながらたくさんの商品を購入させる・・・すごい物販販売の秘技を持っています。ご本人もこんな才能があるとは知らなかったそうです。

そのようなこともありみなさんと楽しみながら公共イメージ向上活動を行えました。

ということでニコボックスを2口お願いします。

●須藤 礼会員（3口）

先週は、川内ロータリークラブ第3333回例会に参加してきました。元会員の方も多数出席されており、とても楽しい時間をすごすことができました。

本日は会員卓話の機会を設けていただき、ありがとうございました。

●11月創業記念日の会員です。益々のご発展をお祈りいたします（5口）

麻生 益直会員 八鹿酒造(株) 元治元年
木村 浩樹会員 大分信用金庫 大正11年
栗山 嘉文会員 大分共同火力(株) 昭和44年

お知らせ

- 11月23日(木・祝) 第32回大分市内9RC合同親睦ゴルフ大会
8:00 IN/OUTスタート
大分竹中カントリークラブ
岩尾、三笥、小野、岡本、杉原、佐藤信、澤田、須藤、高山、山本
- 11月25日(土)～26日(日) RID2720RA第39回年次大会
13:00～ KUMAMoTo B. 9
西野青少年奉仕委員長

例会予定

- 11月21日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
- 11月28日(火) 間瀬会員卓話
- 12月5日(火) 年次総会(全員協議会)
- 12月12日(火) クリスマス家族例会
ホテル日航大分オアシスタワー3階
紅梅の間
18:30点鐘～例会行事～クリスマス会
- 12月19日(火) 栗山会員卓話
- 12月26日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
2024年
- 1月2日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
- 1月10日(水) 大分市内9RC新春合同例会
(1/9(火)の繰下げ)
- 1月16日(火) ファンド奨学生卓話
- 1月23日(火) 下期クラブ協議会(全員協議会)
※委員長より上期報告と下期取り組み発表
- 1月30日(火) 佐野会員卓話
- 2月6日(火) 通常例会
- 2月13日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
- 2月20日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
- 2月27日(火) 通常例会
- 3月5日(火) 通常例会
- 3月12日(火) 夜間例会 18:30点鐘
ホテル日航大分オアシスタワー3階
紅梅の間
- 3月19日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
- 3月26日(火) 通常例会

新会員紹介

氏名 こてがわ だい すけ 小手川 大 助 (1951年生まれ)
職業分類 大学
所属委員会 職業奉仕委員会 委員
勤務先 大分県立芸術文化短期大学
役職名 理事長・学長
所在地 大分市上野丘東1-11
勤務先電話 097-545-0542
勤務先FAX 097-545-0543
創(開)業年月日 昭和36年4月1日
趣味 グルメ、ワイン、スポーツ一般
推薦会員 橋本 均会員

例会変更

クラブ名	開催日	会場
大分城西	11/15(水)	ホテル日航大分オアシスタワー
大分東	11/16(木)	トキハ会館
別府	11/17(金)	両築別邸
大分1985	11/20(月)	トキハ会館
大分臨海	11/27(月)	ホテル日航大分オアシスタワー
大分1985		トキハ会館
大分東	11/30(木)	トキハ会館

週報編集担当者

11月28日号	仲 摩 和 雄
12月5日号	船 津 英 嗣
12月12日号	尾 野 文 俊

事務局よりお願い

例会中に委員会報告やその他発表をされた場合は、週報作成の都合上、必ず翌日午前中までに原稿を事務局までメール送信ください。

それこそロータリー

どこであっても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それこそ □-□-□-ロータリー

事務局

大分市府内町1丁目2-15 トキハ会館4F
TEL 097 (532) 0611 FAX 097 (532) 8386
E-mail oitarc@mist.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.oita-rc.jp/>